

## 中輪バイカラーシクラメン インディアカ®

### この品種のユニークな特性を活かすための 生産アドバイス

モデルでは、二つの中輪シリーズをご提供しております。

- 10.5~12cmの鉢向き ティアニス®  
栽培期間が短くて、よりコンパクトなシリーズ
- 10.5~15cmの鉢向き プレミアム  
ボリュームがあり、幅広く使えるシリーズ

インディアカ®の株のボリュームはプレミアムシリーズの品種に相当します。特徴として、独特の花色のコントラスト、バランスの取れた生育や抜群の花付きがあげられます。

バイカラーな花の出現は気候をはじめとする栽培条件によって異なります。インディアカ®のポテンシャルを活用するためにはシーズン後期の出荷を推奨しています。

以下、この品種の生産にあたっての最適な条件と注意事項についてご紹介させていただきます。



53090 - インディアカ® パープル



53070 - インディアカ® フクシア

## インディアカ® 情報シート

### お求めいただける4色\*:



インディアカ® サーマン



インディアカ® フクシア



インディアカ® パープル



インディアカ® マゼンタ

\*各色には2%ほどの株がバイカラーではありません。

### 品種の特徴

- ボリュームがあって、とても丸い株
- 花付きと連続開花性がとても良い
- 葉は数多くて、濃い緑色

### 栽培期間 (5輪以上の場合)

- 播種から: 30~32週間
- 定植から: 18~20週間 (85~90日の苗の場合)

### バイカラーな花の出現

白・色の割合は主に開花時のADT\*と光によって変わります。気温が低くなると、白・色のコントラストがますます際立ちます。逆に、開花時のADTが高くなると、バイカラーになりにくいです。

### カラーバリエーションの例:



\*ADT: 日平均温度 (Average Daily Temperature)



## アウトドアでの利用:



53030  
インディアカ® サーモン

この4つの品種は、屋外利用に良いパフォーマンスを発揮していて、**OUTstanding Cyclamen®**の認証を受けています。

OUTstanding Cyclamen®の詳細については:

<https://www.cyclamen.com/ja/professional/garden>

## ボトリチスに対する耐性

**インディアカ®**は、葉と花の組織が特に厚く、ボトリチスに対してとても良い耐性を示しています。

気温の低下に伴い、湿度の上昇や凝縮による水滴の発生などの現象が起こりやすくなり、灰色カビ病のダメージも増えてしまいます。ですので、出荷時期が遅い場合、この耐性は大きな利点となります。

## 技術的なアドバイス

### インディアカ®のポテンシャルを活用するため

インディアカ®は、他のモデル品種と同様、定植後に発根期間を設ける必要があります。

その後、生育のコントロールを図るため、以下の数値を参考にして適度なストレスを与えながら管理を行ってください。

### 鉢の選択

インディアカ® シリーズの品種は**10.5~15cmの鉢**に適しています。

- 大鉢の場合はより長い栽培期間が必要です。  
例えば、17cmの鉢なら、3~5週間を追加しなければなりません。

### ADTと光の管理

発根と成長の段階では、18~20°CのADTを推奨しています。

- 平均気温が低い場合、**インディアカ®**は高いレベルの光を受け入れることができます。用土の配合と灌水の管理によっては、適度な水ストレスを与えることも可能です。(500W/m<sup>2</sup>; 45 000 lux)

- 成長期に平均気温が25°Cを超える場合、遮光の管理が欠かせません。遮光で、根を守りながら、株の水分要求を減らし、生育をコントロールできます。(最大で325 W/m<sup>2</sup>; 25 000 lux)

光を散乱させるタイプの遮光装置の使用を強くお勧めします。

**18~20°CのADTを維持**することができる場合、花色のコントラストが強くなります。株も丸くコンパクトに仕上がります。

## インディアカ®シリーズの栽培情報 鉢のサイズとADTによって

品種	鉢サイズ (cm)	栽培期間 (週間)		ADT* (一日における平均気温) と生育ステージ							
		播種から	20~25mmのプラグ苗から	夏		秋		冬		春	
				成長期 25°C以上	開花期 20~25°C	成長期 20~25°C	開花期 15~20°C	成長期 15~20°C	開花期 12~15°C	成長期 15~20°C	開花期 12~15°C
インディアカ®	10,5/11	30 ~ 32	18 ~ 20			☺		☺☺	☺☺	☺☺	☺☺
	12	30 ~ 32	18 ~ 20	☺		☺☺	☺☺	☺☺	☺☺		
	13/15	30 ~ 32	18 ~ 20	☺		☺☺	☺				

☺☺ とても良い条件 ☺ 良い条件

\* Average Daily Temperature

ここに記載の栽培情報は、弊社ウェブサイト [www.cyclamen.com](http://www.cyclamen.com) で紹介している栽培技術をもとにフランスのフレジュスで計測しています。栽培期間は気温が低いと短くなる傾向です。例えば、オランダではインディアカ®の栽培期間は28~30週間で。

📍 特定の生産地域へ適応させるための栽培歴は弊社までお問合せください。

### 温暖地における灌水と水ストレスの管理

容易にマネジメントできる灌水システムにあわせて、用土を選んでください。

#### ・灌水:

ADTが25°C以上の温暖地では、適切な遮光に加えて、ポットのサイズにあわせて水分供給に必要な回数に分けて灌水することを推奨します。低流量のドリッピング灌水システムや薄い底面給水マットなどはゆっくりと給水していくのでとても効果的です。

#### ・用土:

用土も配合によって、水ストレスを強めることが可能になります。通常、乾燥から毛細根を守るためにはわずかな割合のクレイやブラックピートモスが混合されています。

 形成される途中の根系を傷まないように、発根期ではストレスを与えないでください。

 より詳しくは、TechNews「予想外の急激な温度上昇」 



53090 - インディアカ® パープル

### 株のボリュームをコントロールするための施肥管理

#### ・定植後の発根期

元肥のみが必要です。その他に施肥することをおすすめしません。

推奨している元肥の量は:

- 15cm以下の鉢 => 0,75Kg/m<sup>3</sup>
- 15cm以上の鉢 => 1,00Kg/m<sup>3</sup>

#### ・成長期

以前のTechNewsと同じく、数値の単位はN-NO<sub>3</sub>のppm (mg/L) です。

成長期で推奨している肥料バランスは 1/0.5/3 です。

モレルの他の中輪種と比べれば、インディアカ®は生育が旺盛です。そのため、同じ鉢のサイズであれば、必要な肥料分が少なくなります。

例えば、12cmの鉢と18~20°CのADTの場合:

- ティアニス® => 100 ppm N-NO<sub>3</sub>
- インディアカ® => 75 ppm N-NO<sub>3</sub>



オランダでの生産トライアルにおける  
インディアカ®の様子

53030 - インディアカ® サーモン

インディアカ®に推奨している各鉢サイズに対して、ADTと光よっての成長期における必要な窒素量

ADT	最大照度*	鉢サイズ (Ø cm)	肥料量 (ppm N、またはmg/L) **	生育
15~18°C	50 000 lux 550 W/m <sup>2</sup> 5 000 fc	10,5 / 11	75 / 100	遅い生育
		12	≥ 100	
		13 / 15	推奨しない	
18~20°C	40 000 lux 450 W/m <sup>2</sup> 4 000 fc	10,5 / 11	50/75	最適な生育
		12	75/100	
		13 / 15	≥100	
20~25°C	30 000 lux 350 W/m <sup>2</sup> 3000 fc	10,5 / 11	25/50	劣った生育
		12	50/75	
		13 / 15	75/100	
> 25°C	≤ 25 000 lux ≤ 325 W/m <sup>2</sup> ≤ 2500 fc	10,5 / 11	推奨しない	遅い生育
		12	25/50	
		13 / 15	50/75	

\* ADTによって受けられる最大限の光です。それを超える場合は遮光が必要になります

\*\* N/K<sub>2</sub>Oの比率は 1/3